

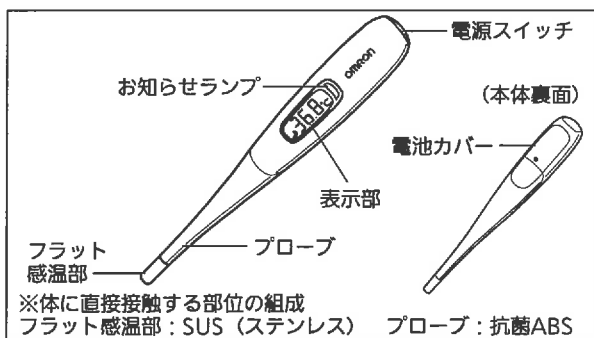
## オムロン 電子体温計 MC-680

### 【禁忌・禁止】

- ・検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
- ※【自己診断は、病気が悪化する原因になります。】
- ・人の体温測定以外に使用しないでください。
- ※【動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。】

### 【形状・構造及び原理等】

#### ※\*1.形状



#### ※\*2.構成

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 標準付属品                   |    |
| お試し用電池（アルカリボタン電池LR41）   | 2個 |
| 収納ケース                   | 1個 |
| 取扱説明書（医療機器添付文書・品質保証書付き） | 1部 |
| EMC技術資料                 | 1部 |

#### ※\*3.動作原理

本製品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、測定開始から約15秒後に予測値を、それ以降は、実測値の最高温度を0.1℃単位で表示する電子体温計である。  
測定中は、測定開始から約15秒後に予測検温が終了した事を知らせるブザーが鳴る。測定をそのまま続けると、予測検温開始後から約10分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

#### 4.本体寸法及び重量

|      |                            |
|------|----------------------------|
| 外形寸法 | 20(幅)×136.8(長さ)×12.7(厚さ)mm |
| 質量   | 約14g（電池含む）                 |

#### 5.電気的定格

|      |                        |
|------|------------------------|
| 電源   | アルカリボタン電池LR41×2個（DC3V） |
| 電圧保護 | 内部電源機器 B形装飾部           |
| 消費電力 | 0.01W                  |

#### ※\*6.性能及び安全性に関する規格等

- (1) 最高温度保持機能：実測した最高温度値を保持し一定時間表示する
- (2) デジタル表示：実測した体温をデジタル表示する
- (3) 最大許容誤差：一般用 ±0.1℃（32.0～42.0℃）  
※標準室温23℃にて恒温水槽で実測測定した場合  
※試験は JIS T 1140：2014による
- (4) 電源電圧：JIS T 1140：2014に適合
- (5) 防 漏：JIS T 1140：2014一部防漏形に適合
- (6) 測温範囲：一般用 32.0～42.0℃
- (7) 最小表示単位：一般用 0.1℃
- (8) 測定範囲外告知：32.0℃未満のとき「L」を表示、42.0℃を超えるとき「H」を表示
- (9) 感 温 部：サーミスタ
- (10) 測定方式：予測・実測（ピークホールド方式）
- (11) 体温表示：デジタル表示3桁+℃表示、0.1℃毎
- (12) 使用環境周囲温度：+10～+40℃ 相対湿度：30～85%RH

#### 7.EMC適合

本製品はEMC規格IEC 60601-1-2：2007に適合しています。

#### ※\*【使用目的又は効果】

本製品は、サーミスタ式の電子体温計です。体温計の感温部をわきに接触させて、人の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示します。わき専用。

#### ※\*【使用方法等】

- (1) 収納ケースから取り出し、電源スイッチを押して電源を入れます。
  - (2) 表示部が「検温準備完了表示」になっていることを確認します。
  - (3) 感温部をわきに挿入し、密着させます。
  - (4) 予測検温を終了するまで、本体を保持します。
  - (5) 予測検温終了のブザー音で、予測検温結果を確認します。
  - (6) 予測検温のみの場合は、電源スイッチを押して電源を切ります。実測検温の場合はそのまま検温を続けます。
  - (7) 予測検温開始から約10分で測定が終了しブザー音が鳴ります。
  - (8) 実測検温結果を確認し、電源スイッチを押して電源を切ります。
- ・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

#### 【使用上の注意】

- (1) わき以外で検温しないでください。
- (2) 連続して検温しないでください。一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、もう一度測り直してください。
- (3) 検温中、感温部を検温する部位に密着させるように固定し、空隙はつからないようにしてください。また、大幅に動かさないでください。
- (4) 電池の電圧が低下すると電池交換マークが表示されますので電池を取り替えてください。
- (5) 運動や入浴後は、30分以上あけてから検温してください。
- (6) 飲食後は、30分以上あけてから検温してください。
- (7) 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30分以上あけてから検温してください。
- (8) わきの下が汗ばんでいるときは、わきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
- (9) 感温部およびプローブは防湿ですが、それ以外（表示部など）は防湿ではありません。本体を水につけないでください。
- (10) 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- (11) 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけでのご使用はさけてください。
- (12) 電池やネジ、電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
- (13) 周囲温度は10～40℃の範囲で使用してください。

#### ※\*【保管方法及び有効期間等】

##### ※\*1.保管方法

次のような環境に保管してください。  
保管環境周囲温度：-20～+60℃  
相対湿度：10～95%RH

次のようなところに保管しないでください。

- (1) 水のかかるところ。
- (2) 高温・多湿、直射日光、ホコリ、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- (3) 傾斜、振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
- (4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

##### 2.耐用期間

※\*標準的な使用期間：5年【自己認証（当社データ）による】

#### 【保守・点検に係る事項】

- (1) 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。
- (2) 勝手に改造しないでください。
- (3) 本製品に水や化学薬品をかけないでください。
- (4) 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- (5) 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布で拭き取ってください。

#### ※\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社  
電話：0120-30-6606  
（オムロン お客様サービスセンター）